

ハンドボール NO 59

Japan Handball Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合番号	k
------	---

年月日	2022 年 10 月 7 日 (金)
大会名	第77回いちご一会とちぎ国体

公式記録用紙

東京都						富山県						B			
栃木県		野木町		野木町立野木中学校				準々決勝							
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加コラット	A	B	
	10	12		22	21										
7m得点/総数		A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数			
1/1		1		2		3		1		2 後 3		0/0			
		1718				2827		2753		2459		2926			

No.	東京都	G	W	2'	2'	D	DR	No.	富山県	G	W	2'	2'	D	DR
1	堀江里奈							1	池田真心都						
2	佐茂春陽			1				2	渡邊瑠奈	3					
3	福田舞希	3						3	渡邊玲奈	5	1	1			
4	木尾珠里奈	5						4	北村幸羽						
5	長谷川凜							5	吉本結	4					
6	石井杏珠	4	1					6	村椿彩月	2					
7	市橋菜々子	3						7	関野文乃	3					
8	井橋萌奈	2						8	室田千夏						
9	井上咲稀							9	川原芹菜						
10	小佐野渚	1						10	小幡みなみ	2					
11	佐々木彩華	4		1				11	松井あゆ	2					
12	竹谷梨花							12	杉本徠藍						
監督A	須川文敬							監督A	長野大						
役員B	榎本満里奈							役員B	稻積翔平						
役員C	田中久樹							役員C	西田穂						
役員D	熊谷悠帆							役員D	小川貴志子						

A		チーム役員A署名		B
特記事項				

レフェリー	國澤 隆	江田 優紀		
TD	加藤 秀和	青木 公司		
MO	海江田 貴嗣			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール NO58

第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

試合結果・戦評報告書

競技日	10月7日(金)	試合番号	E-k	回戦	準々決勝
種別	少年女子	会場	野木町立野木中学校体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
東京都			富山県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
22	10	前半	12	21	
	12	後半	9		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

1回戦を勝ち上がった両チームの戦いは、富山が③渡邊のシュートで先制した。立ち上がりから東京は7人攻撃を仕掛け、⑥石井のサイドシュートと④木尾の連続得点で3対1として勢いに乗りかけたが、富山の1-5ディフェンスが機能し始めると、東京の攻撃を13分間で1ゴールに抑え込むディフェンスで試合の流れを引き寄せた。東京の攻撃を抑える一方、攻撃では⑥吉本の左サイドシュート、②渡邊のポストシュート、⑩小幡がGKのいない東京ゴールにロングシュートを決めるなどして8点を奪い、9対4とリードする。しかし17分、東京がタイムアウトを取ると、ここから流れが東京に傾き始める。富山はシュートミスが続く一方で、東京は終盤、⑪佐々木と⑥石井が両サイドからシュートを2点ずつ決め、速攻のパスカットから逆速攻を決めるなどして4連続得点を含め一気に点差を縮め、一時は6点差あった点差を2点差まで詰めて前半を終えた。

後半に入ると、東京は戦法を変え、ポストを経由したパスプレーを多用して富山のディフェンスを徐々に崩していく。前半2点に抑えられていた④木尾の連続得点をはじめ、5連続得点で15対12と一気に逆転した。富山も反撃に出るが、東京GK①堀江の好セーブに阻まれるなどして得点が奪えず、後半開始から9分間ノーゴールが続いた。9分に富山⑩松井が粘り強くシュートを決めて13点目を取ると、そこからは一進一退の攻防が続く。東京のパスプレーから③福田、⑤井橋らがシュートを決めれば、富山が③渡邊らの鋭いカットインで追いつく展開。さらに富山GK①池田が好セーブを連発して東京の得点を許さず、またお互いにシュートが枠を捉えられずに我慢する時間帯などもはさみつつ、試合は21対21の同点のまま終盤にもつれ込んだ。勝負を決めたのは試合終了1分前の東京のパスプレー。⑪佐々木が左サイドからシュートを決めると、これが決勝点となった。富山は最後まであきらめずにゴールを奪いにいったが得点を奪えず、22対21で試合終了のホイッスル。最後の最後までどちらが勝利するのかかわからない白熱した試合を東京が制し、準決勝にコマを進めた。

記載者氏名

青木 圭

送信日時

10月7日(金) 17:53